

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	事業所の前にある広い公園で集団活動は毎日行っている。	今は信頼関係を構築している段階なので楽しみ中心だが今後は団体行動ができるプログラムを考案しなくてはならない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	出勤時の社員送迎中の車内や出社後に話し合いをしている。	人数が増えてきたら、話し合いの比重を車内ではなくミーティングに置かなければならない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	退勤前や退勤時の社員送迎中の車内で話し合いをしている。	人数が増えてきたら、話し合いの比重を車内ではなくミーティングに置かなければならない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	HUGを活用して行っている。	今後も徹底していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	スケジュール通り行っている。	母数が増えたときにいかに対応するかが課題。自分は慣れているが、今後来る新人の児発管がどう行ってもらおうか考えるのが今後の課題。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	他はできているが、地域の人達との交流活動の部分がまだまだできていない。	地域とどう関わっていくか考えていくことが課題。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	行動や選択に困ったとき2択や4択を駆使して、最終決断は行ってもらい、自分で選んだという達成感をもたせながらおこなっている。	職員全員がスムーズな対応をまだできていないので、今後鍛えていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管が対応。	まだできたばかりで会議自体があまりないので今後は他の職員も参加させて経験を積ませたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	協力医療機関、学校と連携しているが、他はまだあまりない。	協力の仕方を模索する必要がある。また、一部の職員しか関わりがないので、今後経験を積んでもらう。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	特別支援学校や学校の支援級などと送迎の相談や情報共有はしているが個人情報もありあまり深くはできていない。	自分たちでも考えるが、どのお互いあまり関わろうとしていないので、個別ではアプローチが難しい。行政に歩み寄れる機会を作ってほしい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	こちらが一方向的に営業活動を行っただけで、まだまだあまり関わっていない。	相手があまりメリットを感じていない様子で明確な返事がないので、感じさせる努力をしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	出来たばかりで該当者がいないのでまだ対応していない。	どうするか考えておく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	児発管研修などは受けた。	まだできたばかりで研修の機会自体があまりないので今後は他の職員も参加させて経験を積ませたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	行いたい気持ちはあるがまだない。	まだ、続々と新しい児童が入ってきている途中なので、事業所の児童との信頼関係の構築中。いずれは地域の児童にもベクトルを向けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	まだない。	出来たばかりで、内部の構築中なので、まだ外部との積極的なかわり方ができていない。今後の課題にしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	HUGを活用して行っている。	以前の会社の経験上、HUGを見ていない、返事をしないといった人が一定数これから出てくるので、対応を考えていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	行えていない。まだ、教える立場のスキルを持った職員は少ない。	行うには職員の人数増、スキルアップが必要。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学时、契約時適切に行っている。	引き続き継続。職員を教育して説明ができる人を増やしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談、見学会で対応している。	引き続き継続。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	HUG等を駆使して行っている。	引き続き継続。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	HUG、面談、送迎時など都度行っている。	引き続き継続。ただし、職員によって、保護者様との相性や相談の向き不向きがあるのは確かなので、その都度教育し、できるようにしてもらおう。